

日本をこう変える



AVCC×KK²

2022年4月8日

松田政策研究所代表
未来社会プロデューサー
元衆議院議員

松田 学



著書ご紹介



1章 新型コロナとは何だったのか

2章 PCR検査の弊害

3章 コロナワクチンの正体と今後の視野

4章 新型コロナに、政治はどう向き合ってきたのか?

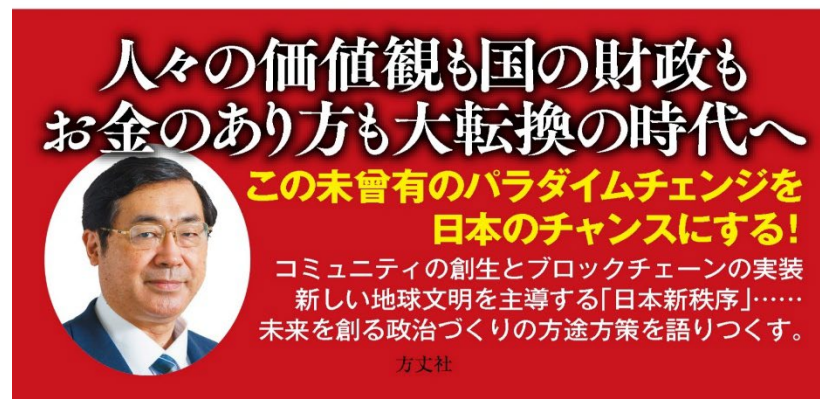
5章 疲弊した日本経済をどう立て直すのか?

6章 コロナ禍に翻弄された日本はこれからどうなるのか?

- 今回の新型コロナを甘くみるな…人と人とを離しても、人とウイルスを人間の力で離すことは不可能。
- 対策は免疫力の強化のみ 変異の順番に身をさらす 免疫軍事訓練 対策は全く逆→頭の切り替えを
- 俯瞰してみると…インフル医者に毎年1,000万人<数千万人→毎年インフルでPCR→今回上回る大パニック
- 欧米とは違う…細胞の椅子取りゲーム(ウイルス干渉)で2020年は超過死亡数1万人近いマイナスの国
- 人間とは…ウイルスで進化。無数の微生物やウイルスとの共存関係。未知の生態系のバランスの中で生存。
- ①根本にある医療システム不備、
- ②現在は免疫力弱化政策で逆、
- ③対策の対象が違う…排便トイレ物理的付着

方丈社
2021年5月

方丈社
2021年
12月



↑ 新著2022年2月21日出版予定

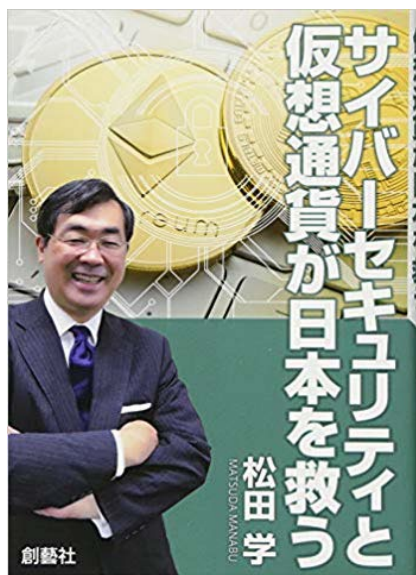
2022年5月
武田邦彦先生との対談本出版予定

松田政策研究所チャンネル Youtube＋ニコニコ



参政党共同代表
全国比例区第一支部長に就任

松田学の近著より



創藝社2018年8月



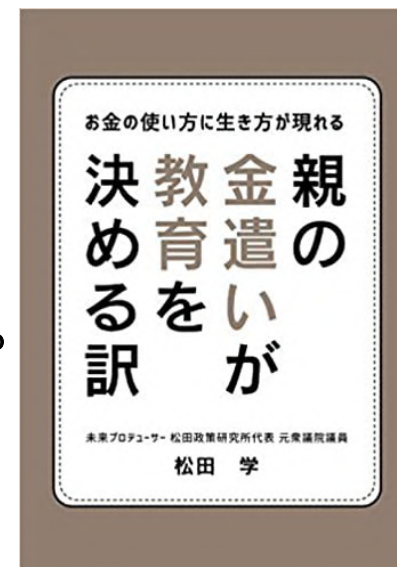
- 第1章 ドイツ銀行がトリガーか
リスクにさらされる世界経済
- 第2章 突出する中国と世界の
暗号資産最前線
- 第3章 日本の暗号通貨と
サイバーセキュリティ
- 第4章 暗号通貨が作る
「協働型コモンズ」社会
- 第5章 鼎談 最新暗号通貨が
日本を救う

宝島社2019年1月



- 10年後、
お金が
ドンドン
集まる
人になる
ために
- 1時間目 「みらいのお金」は
自由へのパスポート
- 2時間目 仮想通貨ってそもそも何？
- 3時間目 日本は「キャッシュレス
後進国」で「仮想通貨天国」？
- 4時間目 「みらいのお金」も「昔のお
金」も約束と信用でできている
- 5時間目 「みらいのお金」で誰でも
作れる「小さな経済」
- 6時間目 仮想通貨を使ってみよう
- 7時間目 お金はマルチメディア化する

アスコム2019年2月



ギャラクシー出版2020年12月



参政党の政策10の柱



参政党ホームページ

ポストコロナへ・・・戦後システムからのパラダイムチェンジ

1. 外交安全保障のchange

・・・自国専守防衛からインド太平洋秩序の主役へ

2. 新たな地球文明の担い手へのchange

・・・西洋文明主導・「欧米に追い付け追い越せ」から日本新秩序で世界文明を主導する国へ

3. デジタル革命と戦後社会システムのchange

・・・「生産者起点」組織とルーティンの人生から「ユーザー・生活者起点」人間本位の社会と人生へ

4. 競争型資本主義から協働型コモンズへのchange

・・・利己心と利益至上主義から利他心と生き甲斐を支え合うコミュニティとみらいのお金の時代へ

5. 経済財政運営のパラダイムchange

・・・財政フロー均衡主義下での冷温経済から財政ストック貨幣化によるハイパワー循環経済へ

6. 戦後の歴史認識の転換へchange

・・・国連戦勝国秩序下での戦犯国レジームから正しい歴史認識共有による価値観同盟新秩序へ

新たな地球文明の担い手へのchange

・・・西洋文明主導・「欧米に追い付け追い越せ」から日本新秩序で世界文明を主導する国へ

●800年周期説・・・東→西（ルネサンス～）→東（21世紀～）

・21世紀最初の20年・・・

①01年9・11米一極軍事覇権にノー

②08年リーマンショック：膨張する金融主導資本主義では×

③11年3・11東日本大震災：新たな文明を担う役割→「日本新秩序」

⇒20年新型コロナ：いよいよ人類文明は転換へ

○転換期には覇権国

・・・20年は見えない戦争が可視化した年：米国をも浸食したSilent Invasion

⇒世界はオウエルの的ディストピアへ→全体主義vs自由の価値の先鋭化

アジア太平洋→中国が主宰する秩序へ

・・・世界のデジタル通貨プラットフォーム→中国の世界覇権を完成？

（RCEP＋CIPS＋デジタル人民元＋人民元国際オンラインバンク）

○転換期に世界を激震させる国はいずれ内部崩壊（2030年？）

●次の文明の中心は中国ではなく日本

政権中枢は知っていた・・・新型コロナの真相 ⇒感染症の正しい知識の啓発 & ワクハラからの救済

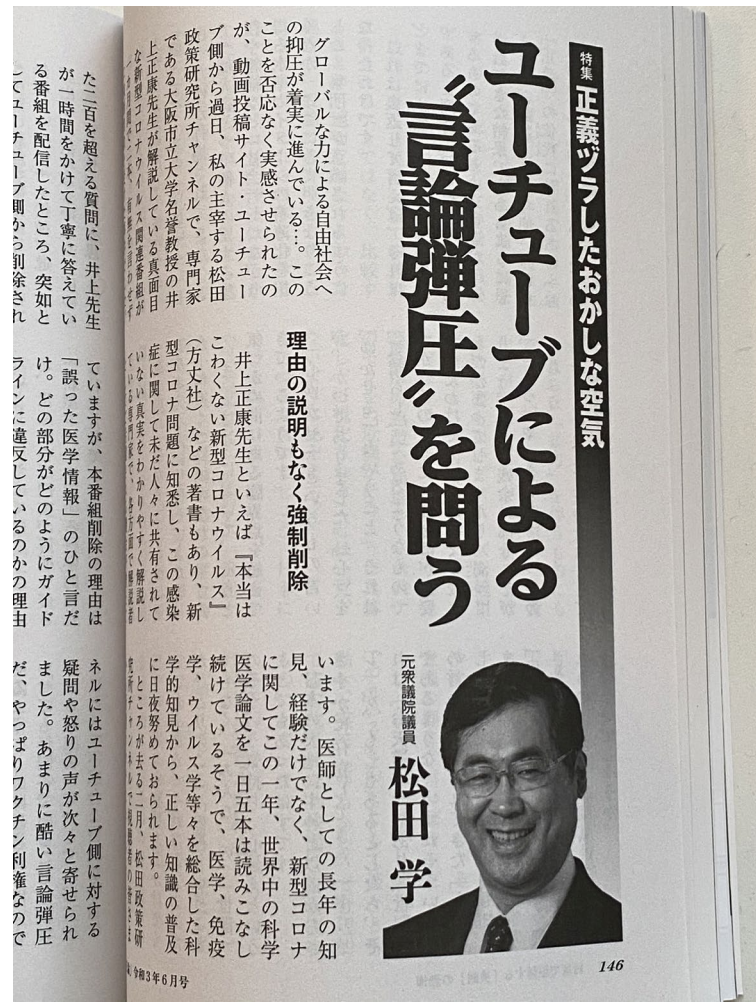
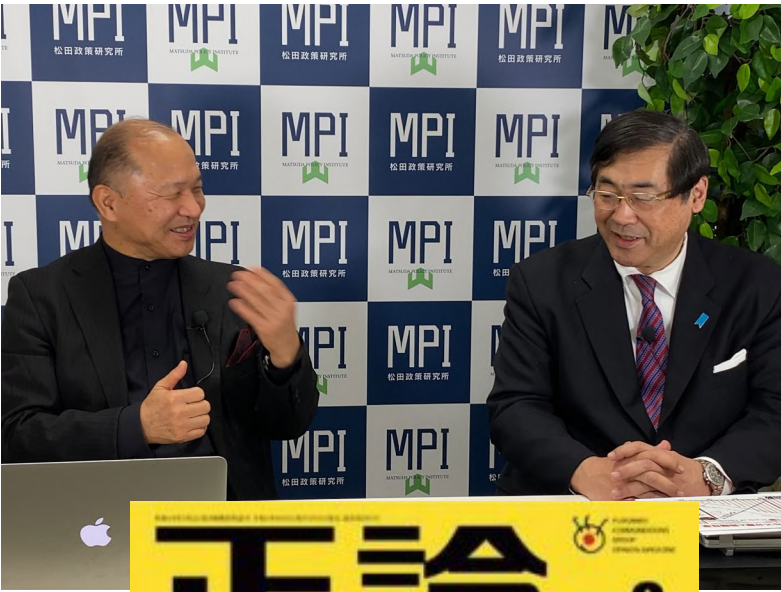


上久保靖彦・京都大学大学院特定教授
「上久保靖彦先生から国民及び菅政権へのメッセージ」
松田政策研究所チャンネル20年12月31日配信

井上正康・大阪市立大学名誉教授
「日本コロナの真実とは？コロナ狂騒曲の真相と処方箋」
松田政策研究所チャンネル20年12月26日配信

ユーチューブ動画削除→復活

- 松田政策研究所チャンネル2月21日配信
「井上正康先生に訊く！視聴者からの『新型コロナ』疑問、質問に答えます！」
ゲスト：大阪市立大学名誉教授井上正康氏
⇒配信後視聴4万近く⇒数時間後に削除
理由は「誤った医学情報」のみ
⇔最も正しい最先端の医学情報
- 正論6月号 5月1日発売
 - ・言論弾圧 YouTubeのためにもならない
 - ・ワクチン利権などへの疑念拡大
 - ・法規制こそ国会議員の仕事（豪州、欧州）
- 5月2日YouTube側よりメール
⇒再審査の結果、ガイドライン違反でない
⇒動画復活
- 他の制裁措置含め二か月半のダメージ大



着々と進行する
AI が人間を支配する
全体主義社会
⇒「コロナ脳」が受容？
↓
新しい保守主義の役割

グローバル全体主義vs自由社会を守る国民国家

●新型コロナ⇒統制に対する抵抗感の衰弱化

●松田政策研究所チャンネル番組強制削除事件

・理由不開示、警告なし、AIが…現代の焚書坑儒 言論の自由の抑圧に

●トランプのアカウント削除⇔メルケル「法」によるべき→国家（←民主主義）

●グローバル勢力vs国民国家

・プラットフォーム（+メディア）

共産主義の変異株（アンティファ、BLM、ポリコレ、キャンセルカルチャー）

Silent Invasion by CCP、グローバル金融資本…

⇔自由社会と法の支配と民主主義を守る新たな国家像

←新型コロナで浮上した国民国家の意味…トランプの闘い

●電子データが最大の付加価値+軍事覇権⇒プラットフォームが支配する世界

●次は通貨プラットフォーム…世界覇権を完成させるデジタル人民元の脅威の意味

⇔「松田プラン」が答

●ディストピアから人間的価値を守り抜く…問われるDXの真の意味

⇒人間的価値を中心とする日本型社会へのソリューション

NATOの拡大



【武田邦彦氏提供資料】

グローバルストand/or全体主義vs自由and国民国家

KEY WORD

●グローバルスト…

ネオコン　ネオナチ　アゾフ連隊　ウクライナ国際政権（ゼレンスキー）
国際資本　石油利権　ジョージ・ソロス　ユダヤ資本
トロツキスト（ネオコン革命思想）　オープンロシア財団（ロスチャイルド）
外交問題評議会　バイデン政権（ヌーランド）　NATO



- ロシア資源…エリツィン時代のオリガルヒ（ユダヤ）⇔プーチン⇔ホドロフスキー
- ニューワールドオーダー　世界統一　世界政府樹立⇔主権国家
- 「ロシアは米国の世界政府構想に反対」プーチン（ナショナリスト）
- メディア操作…フセイン、カダフィ、トランプ、プーチン（資源ナショナリズム）
→ウクライナもフェイク情報…情報戦争　メディアは最大の武器
- ネオコンのウクライナ支配…2014年からロシア系住民迫害（オデッサ虐殺事件）
←ロシア軍の標的はネオナチの拠点（ロシアの要求は非ネオナチ化）原発？
- 目標はプーチンを戦争に巻き込んで打倒…コロナの次はウクライナ
- 中国共産党（全体主義）…習近平（ナショナリスト）vs江沢民（米民主党）

通貨の概念が変わる…人類史始まって以来の大変革

- 台帳方式と貨幣方式…原初はヤップ島の台帳方式
：改ざん不可能…石板に彫り込む⇒現在：ブロックチェーンで仮想通貨
- 貨幣方式…あこや貝（人民元と日本円）
→金銀本位制（実物が信用の裏付け）→紙幣（国の信用が裏付け）
- 台帳方式…銀行制度の発展→預金通貨：中央集権管理者への信用）
⇒現在：新興国途上国は不備→デジタル通貨の必要性（エルサルバドル等）
- ニクソンショック1971年→管理通貨制度への移行→裏付けは国の信用のみ
…基軸通貨であること（自己循環論法）or基軸通貨とのリンク
or国力（政治軍事経済力）、資源、経済政策への信認が信用のバックに
 - ・人民元は信用無し…事実上の米ドル本位制→トランプの貿易戦争
 - ・中国の悲願→米ドル依存も国の信用の裏付けもなき通貨の必要性
- 新たな信用の基盤としてのテクノロジー（情報技術）
&プラットフォーム＋ネットワーク効果＋利便性→通貨が利用される根源に

中国の世界戦略におけるデジタル人民元

人民元の国際化→米ドル基軸通貨体制からの脱却・人民元の基軸通貨化→米中覇権対立→中国の世界戦略→共産党体制の維持強化

プラットフォーム

中国は世界唯一最大のプラットフォーマー、インフラに

BSN(中国主導:ブロックチェーン・サービス・ネットワーク)

現在の暗号資産→デジタルドル、デジタルユーロ、デジタル円→全ての暗号通貨へ

技術力アップ

CBDC

デジタル人民元

各国当局→UAE、タイ、香港、BISと共同で

国内監視体制

外交力アップ

決済システム

C I P S (Cnpss Border Interbank Payment System)…SWIFTと提携

浸透力アップ

実体経済(商圈)

一帯一路 RCEP 貿易相手中国一位の国々 原油先物人民元決済、ロシアやイラン…

人民元建て
オンラインバンク

スマホマイナンバーとは？

民間IDの問題点

法的な位置づけがないため、『法令に基づく本人確認』が求められる場合の利用は“NG”

各社個々の『個人認証基盤』が必要 ～膨大な社会的コスト～

基本機能



Legal

法的位置づけ
が明確な
個人認証



smart

毎回の
カード読取り不要
簡単;スマート

スマホマイナンバー



拡張機能



Convenience

公共施設／コンビニ
カードリーダー読取り対応



safety

生体認証
を使って
便利で安心

専用カードリーダーなどの“環境整備”必要

“民間ユースケースがほとんどない”

マイナンバーカードの問題点



DIPC

デジタルアイデンティティ推進コンソーシアム

政府発行法定通貨トークン（デジタル円）

政府

マイナンバー制度

政府管理
各種個人情報

税・社会保険・防災
＋健康保険・運転免許…

↓
所得・資産・健康状態
生活状態・経営状況…

各人へテラーメイド
行政サービス
プッシュ型あり

スマホ

マイナンバーカード
アプリ

↓
個人認証・本人確認

政府発行デジタル円

ウォレット

民間

企業等提供
各種サービス

金融、物流、
電力、医療、
福祉、各種種予約
…

手続き

ワンストップ

納税、社会保険料、
手数料等
支払い

手続き

ワンストップ

支払い

サービス提供

サービス提供

デジタルアイデンティティ推進コンソーシアム

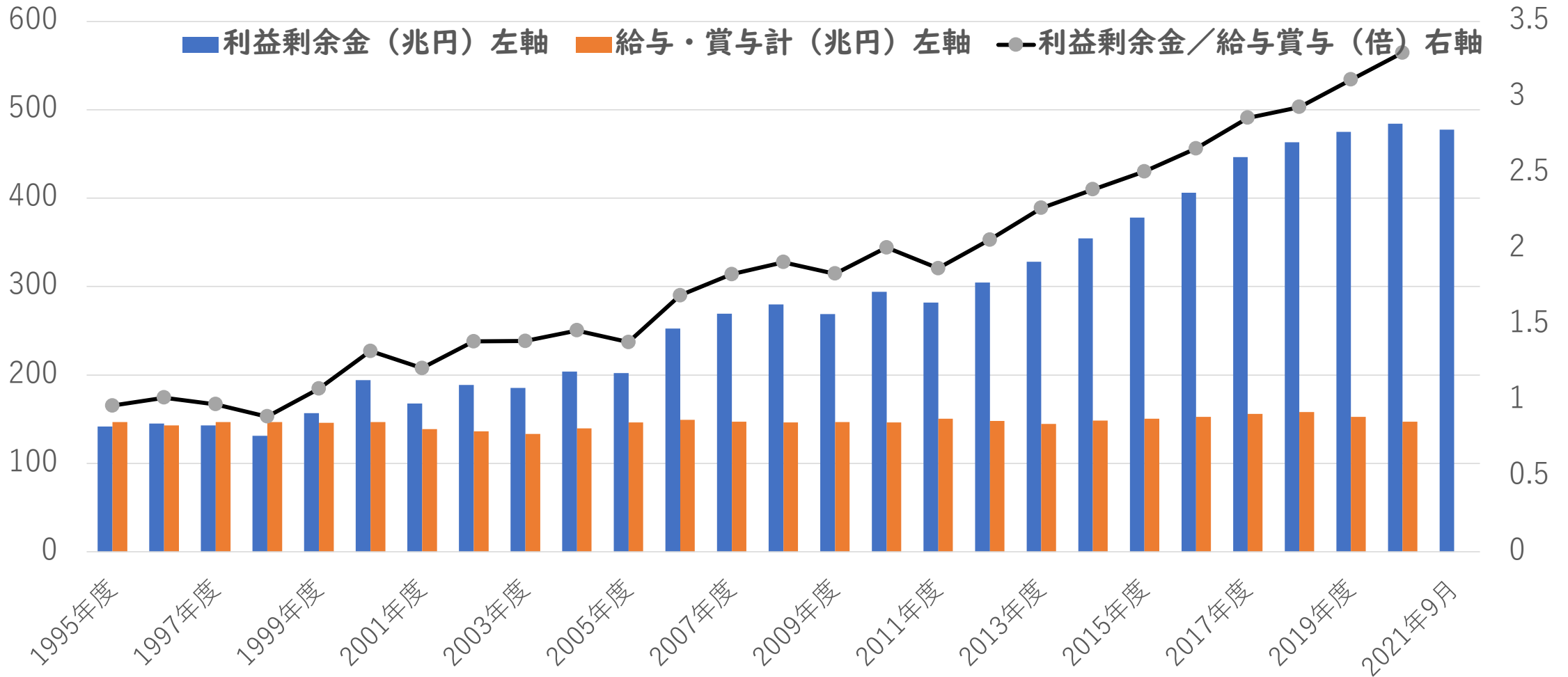
（課題） トークンエコノミーに向けたブロックチェーン共通基盤の整備

分配の目玉は賃上げだが、経団連企業が顔を向けるのは株主

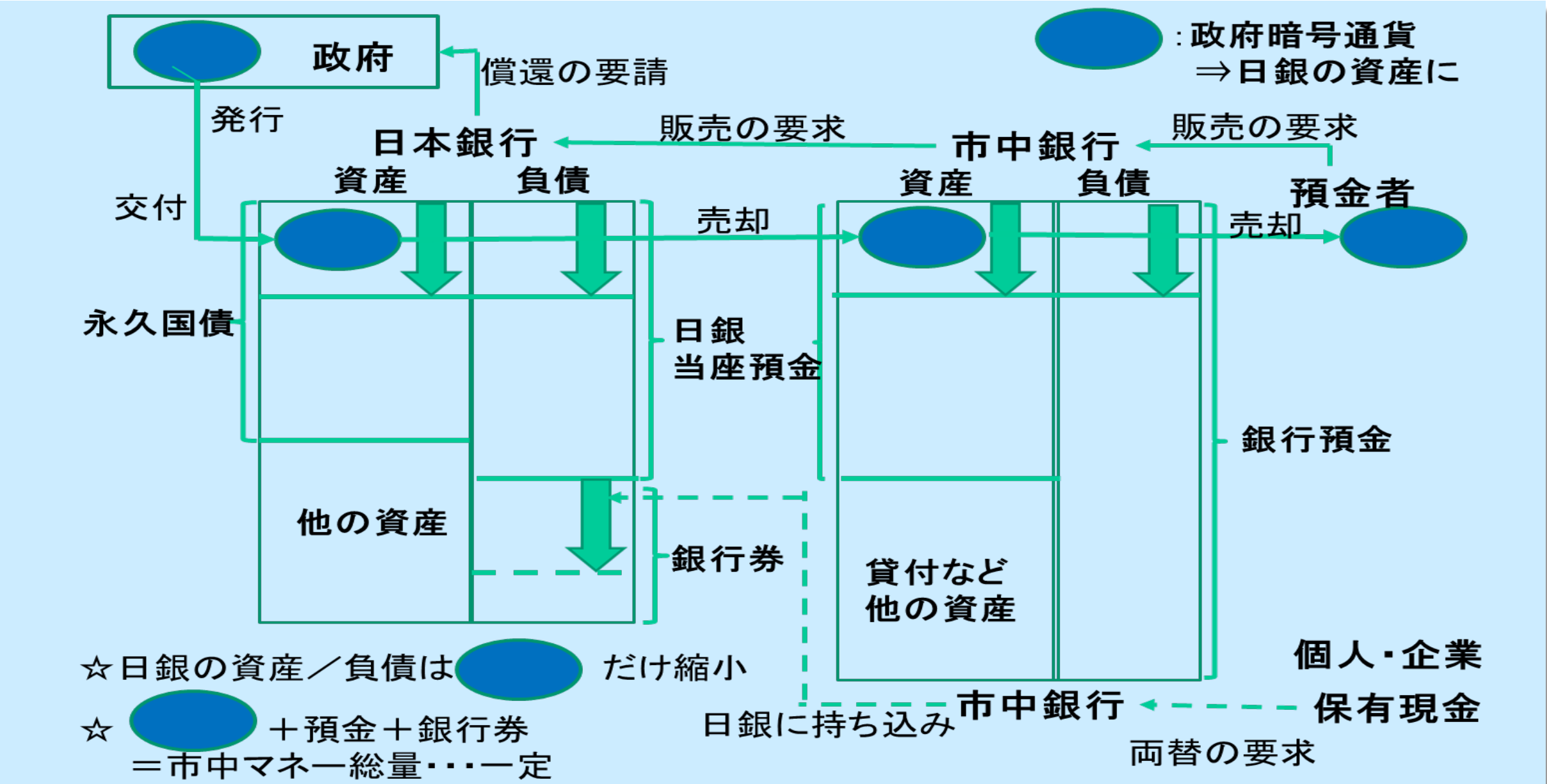
作成：田村秀男

法人企業（金融保険を除く全業種）の従業員給与と利益剰余金

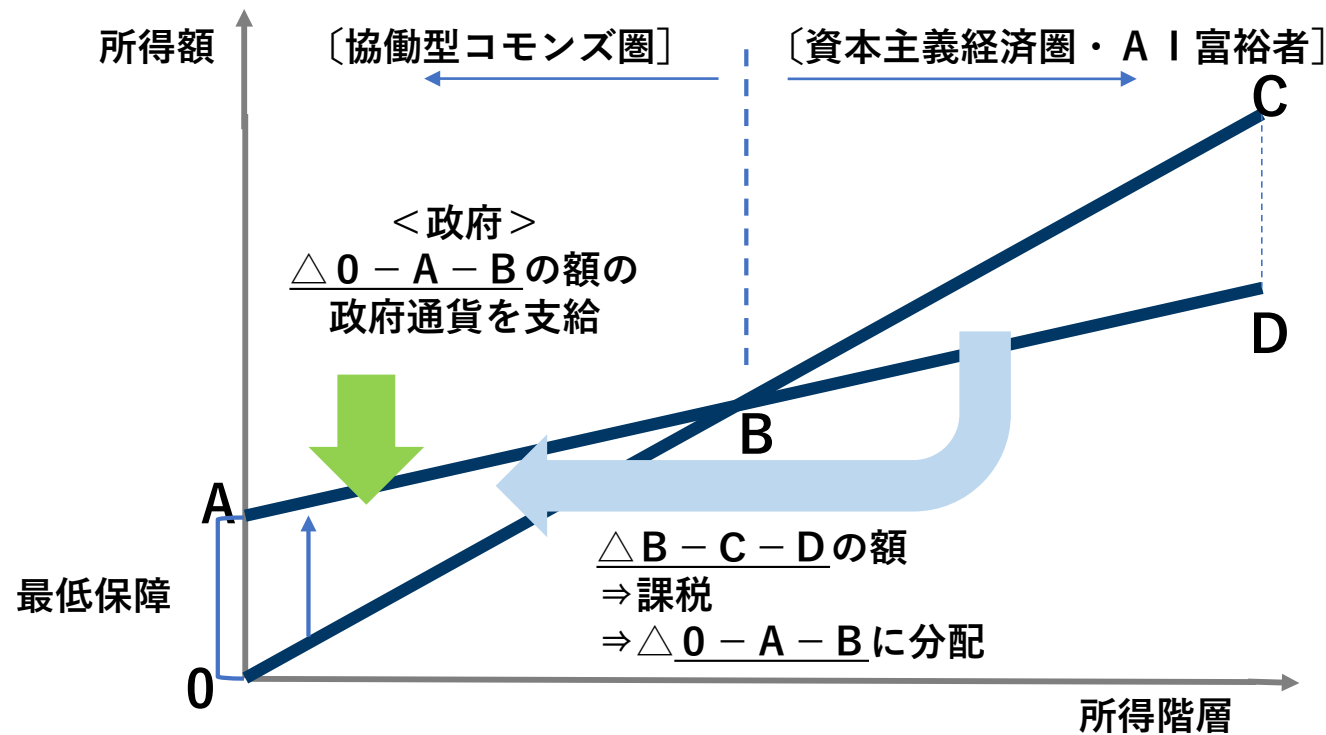
データ：財務省法人企業統計



松田プラン・・・日銀保有国債は政府発行デジタル円で償還⇒市中からの両替要求により流通



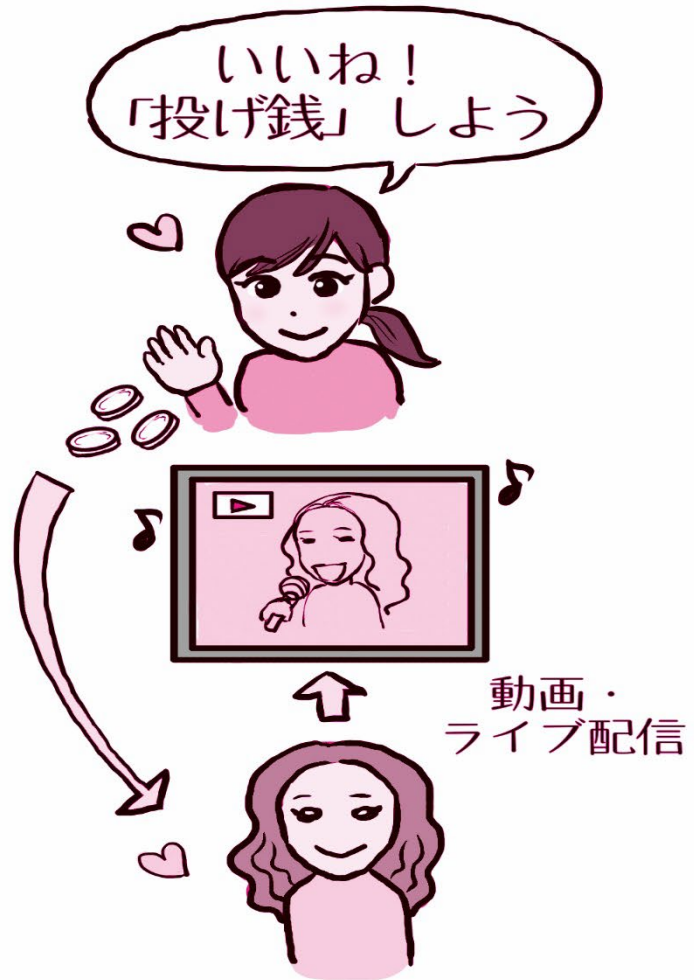
資本主義経済圏と協働型コモンズ圏…ベーシックインカムは答になるのか

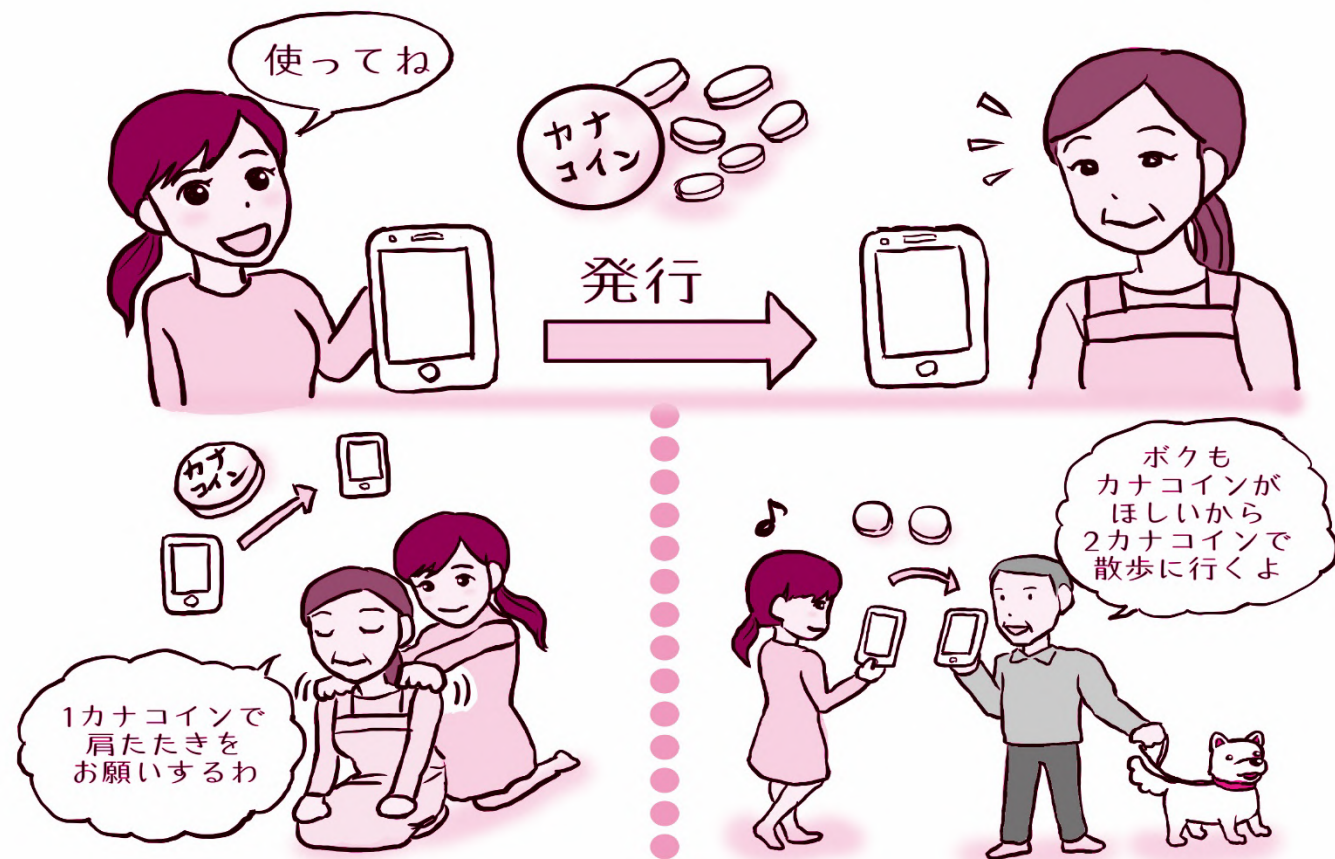


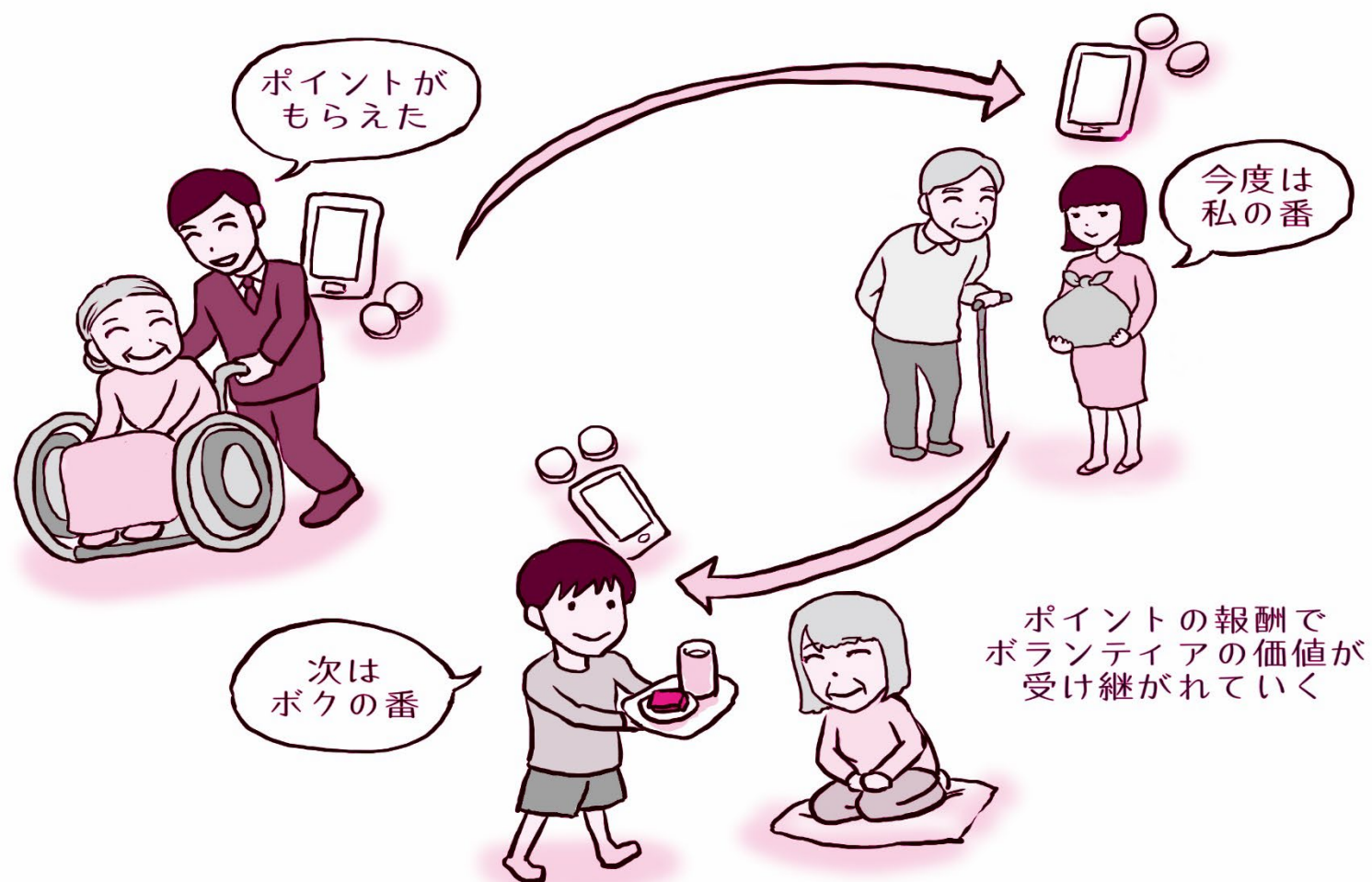
- ・国民全員に毎月最低A万円の所得を保障。
 - ・所得の上昇に応じ支給額を漸減。
 - ・社会貢献などの活動に応じて可処分所得が増えるよう支給。
- ⇒活動・勤労意欲を高める。

(注) 年金など他の収入は捨象。

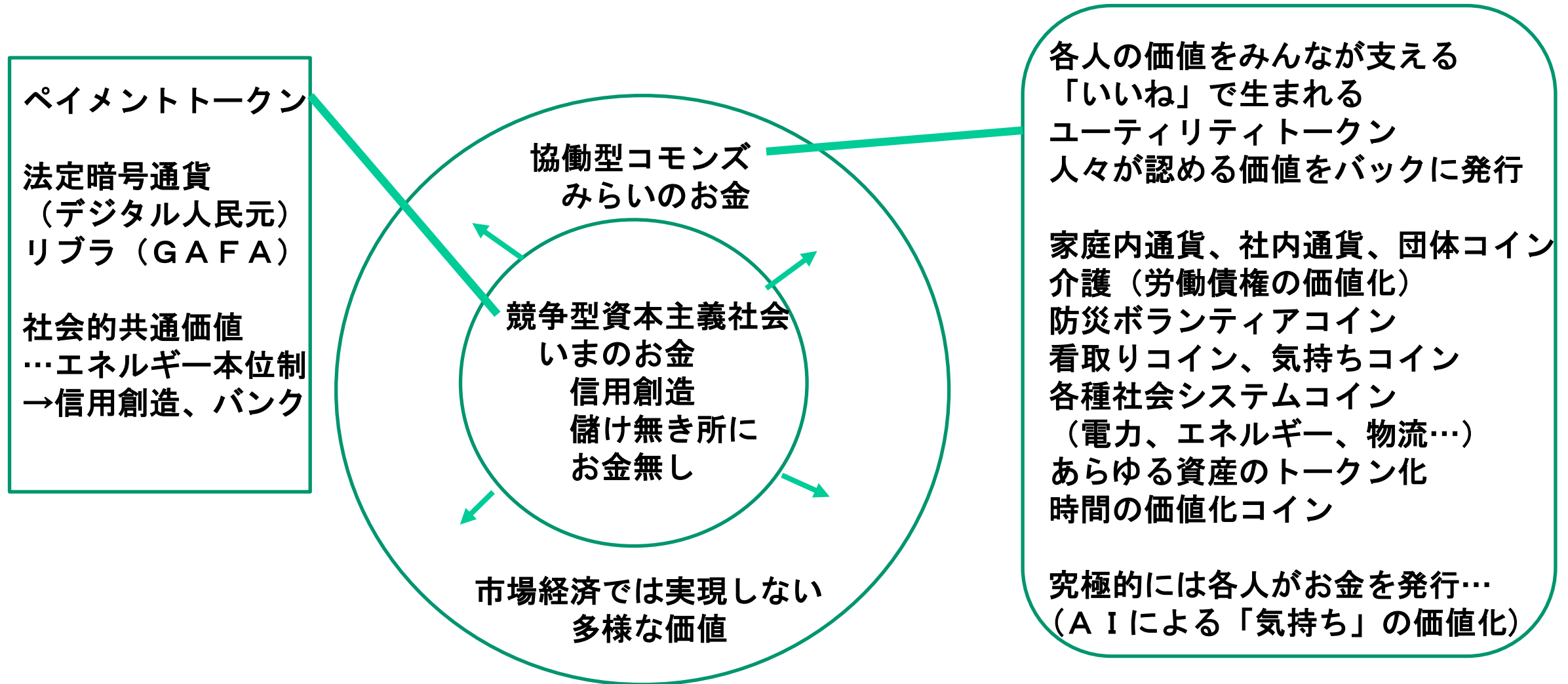
- ・当初 $0 - B - C$ のライン
- ・課税によるB | 支給⇒ $A - B - D$ のラインに
- ・政府通貨によるB | 支給⇒ $A - B - C$ のラインに⇒総需要（購買力）はより大きく拡大







みらいのお金と協働型コモンズ



具体的なテーマの例：Bond・Bondと「みとりコイン」

日本は「課題先進国」

経済成長は
社会的課題解決
から

モデル創造の舞台
は
地域と自治体

ブロックチェーンは
未だ
黎明期の技術

日本が先駆的分野を拓き 世界での求心力を得るチャンス

Bond (きずな) **Bond** (債権) 構想
…超高齢化社会という課題
なかでも介護

介護士資格のない
ボランティア

⇒

ポイント発行
(やり甲斐)

⇒

管理

⇒

自らへの
介護ボランティアに…

※市場経済では無価値⇒無から有(ポイント⇒コイン自体に経済的価値)を生む

みとりコイン

…次は「多死社会」という課題
誰もが迎える「死」を幸福に
⇒若者世代

看取り士(←社団法人)が既に全国で900人＋看取りボランティア9,000人

幸せな死の価値
を実感

⇒

その幸福感という価値をバックに
トークンを発行…流通

⇒

広がり

既に人間の感情をトークン化するブロックチェーン技術あり(気持ちトークン)

みとりから生まれる
コミュニティ

⇒

全国に先駆けて
実装

⇒

拠点
化

他にもテーマは色々…何かをテーマにコイン発行

⇒他のテーマの基盤にもなるトークンエコノミーのプラットフォームが自治体に形成
ブロックチェーン都市化で「課題解決先進都市＋イノベーションのメッカ」として求心力!!

松田学：最先端ITアカデミーとブロックチェーンコンソーシアム

市場を超える価値の追求・・・日本型コミュニティづくりで「新しい日本力資本主義」へ

- 世界の潮流：お金よりも良い雇用を…社会にとって有意義な雇用を地域社会で…

MMTも地域コミュニティづくりのための財源は国債で無制限にというケルトン女史の提案が原点

- 現状：核家族と会社 全てはお金で解決（市場と社会保障）⇒持続不可能⇒お金よりも「人」と「人手」
⇒アフターコロナに向けた日本の再生の上でキーワードになるのは日本型の「コミュニティ」

- ・超高齢社会の課題を解決…ex共同介護（徘徊老人）←保険の原理 まち全体で
- ・団塊ジュニアがこれから大変に。4割が単身世帯に。
- ・江戸時代は生産の場がコミュニティ⇒日本の国民性に合った生産の場⇒自ずと経済成長：成長戦略
- ・AI・ロボット革命で産業社会で居場所を失う大量の人口に活動の場
←ブロックチェーンを活用したトークンエコノミーが支える「協働型コモンズ」

市場のお金に振り回されない自立的な経済

- ・足元で団結力→国力の源・・・基礎自治体を支える→真の地方分権、地域創生、住民自治へ
- ・顔が見える関係→お金持ち高齢者とそうでない高齢者の間でシェア。寄付も目に見えるから起こる。
→現役世代の負担軽減

- ・健康の源泉は…①食、②歩いて回る生活、③社会の中での責任感と一定の緊張感

- コミュニティオルガナイザー：おせっかい（お見合い）おばさん、保険レディ…→地方議員

- 「新しい資本主義」？…物的資本、金融資本、人的資本→「社会的信頼関係資本」の時代に
それあってこそその市場経済・・・信頼関係の強い国ほど経済成長